学校番号	1008

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	(学)数学演習ＩA	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	ニューグローバルマーチ数学Ⅰ＋A＋Ⅱ＋B＋C（東京書籍出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考え発表する活動を行います。
・問題集用のノートを用意してください。
　問題集の問題をまず自分で解いて各自答え合わせをしてください。自分がどこでつまずいたかを知ることは大切なものです。
・家庭学習における課題は、定期的に提出があります。
・授業時に表現力をつけるため課題解説をしてもらいます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
数学Ⅰ・A の基本的な概念や原則・法則を理解並びに数学的な解釈をし、表現・処理することができる。
【思考力、判断力、表現力等】
数学的論拠に基づいて問題の解法を解説し、説明された内容を批判的に考察・判断ができる。
【学びに向かう力、人間性等】
解説された解法について深く考察しようとする。数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現しようとする。粘り強く考え数学的論拠に基づいた解答をしようとする

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学ＩＡの基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり,数学的に表現･処理したりする技能を身に付けている。	数学を活用して事象を論理的に考察したり，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察したり，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したりすることができる。	数学のよさを認識し数学を活用したり，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	数と式	式の値 絶対値を含む方程式･不等式	a: 根号を含む式の計算ができる。絶対値記号を含む基本的な方程式・不等式を解くことができる。 b:根号を含む式の値について大きさを考察したり，整数部分と小数部分を求めたりすることができる。不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することができる。 c:分母の有理化についての学習を振り返り，考察を深めようとしている。	確認テスト 単元テスト 定期テスト	単元テスト 定期テスト ワークシート	ワークシート グループワーク 宿題
	集合と命題	集合 必要条件･十分条件	a：集合と命題や条件に関する基本的な概念，命題の逆・裏・対偶，命題の真偽を理解している。集合と要素の関係や集合同士の関係を記号や図を用いて表現することができる。 b:ド・モルガンの法則を理解し，利用することができる。 C：命題の真偽や条件同士の包含関係を，条件が満たすもの全体の集合の包含関係と関連付けて考えようとしている。	確認テスト 単元テスト 定期テスト	単元テスト 定期テスト ワークシート	ワークシート グループワーク 宿題
二学期	2次関数	放物線の平行移動 2次関数の最大･最小 2次不等式 放物線とx軸の共有点	a:二次関数の最大値や最小値を求めることができる。二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係，二次不等式と二次関数のグラフとの関係について理解している。 b:定義域や式に文字を含む場合に，二次関数の最大値と最小値がどのように変化するかを判断することができる。 c:一次不等式の性質を基に，関数のグラフを利用して二次不等式を解くことを考えようとしている。	確認テスト 単元テスト 定期テスト	単元テスト 定期テスト ワークシート	ワークシート グループワーク 宿題

	図形と計量	正弦定理･余弦定理･面積 円に内接する四角形 空間図形と三角比	a:正弦定理や余弦定理を理解し，三角形の辺の長さや角の大きさをもとめることができる。 b：図形の構成要素間の関係に着目して，問題を解決したり，事象の数学的な特徴を考察したりすることができる。 c：図形と計量について学んだことを，事象の問題解決に活かそうとしている。	確認テスト 単元テスト 定期テスト	単元テスト 定期テスト ワークシート	ワークシート グループワーク 宿題
	データの分析、	平均値、分散と散らばり データの相関 仮説検定の考え方	a:分散，標準偏差，散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解している。具体的な事象において仮説検定の考え方を理解している。 b:データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察できる。 c:統計量の性質について学んだことを，事象の問題解決に活かそうとしている。	確認テスト 単元テスト 定期テスト	単元テスト 定期テスト ワークシート	ワークシート グループワーク 宿題
	場合の数と確率	場合の数･順列･組合せ 確率の基本 反復試行の基本 条件付き確率、期待値	a:確率の意味や基本的な法則を用いて，事象の確率や期待値を求めることができる。独立な試行の確率，条件つき確率を求めることができる。 b:確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断できる。 c:場合の数や確率を求める方法を多面的に考察しようとしている。	確認テスト 単元テスト 定期テスト	単元テスト 定期テスト ワークシート	ワークシート グループワーク 宿題
三学期	図形の性質	平面図形 空間図形	a:三角形、円、空間図形に関する基本的な性質を理解している。 b:図形の構成要素間の関係やすでに学習した図形の性質に着目し，図形の新たな性質を見出し，その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。 C：図形の性質について学んだことを，事象の問題解決に活かそうとしている。	確認テスト 単元テスト 定期テスト	単元テスト 定期テスト ワークシート	ワークシート グループワーク 宿題
	問題演習	数学Ⅰ･A 実践問題	a: 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 b: 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 c: 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を養う。	確認テスト 単元テスト 定期テスト	単元テスト 定期テスト ワークシート	ワークシート グループワーク 宿題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度